

衆議院議長 殿  
参議院議長 殿

## 75歳以上医療費窓口負担2割化に反対する請願署名

政府は、75歳以上の医療費窓口負担を、単身の場合は「年収200万円以上」、夫婦がどちらも75歳以上で「年収320万円以上」の世帯を対象に、約370万人の医療費を1割から2割に2倍化する法案を予算関連法案として通常国会に提出し、「団塊の世代」が75歳以上になり始める2022年には実施できるよう、3月中にも一括法案として早期の成立を目論んでいます。

高齢者の所得の8割は公的年金が占め、約7割の世帯は公的年金のみで生活しています。その年金も減らされ続けて、2020年には2013年比で実質支給額は6.4%も減っています。さらに、高齢者の貧困化の深まりで、生活保護を受給している高齢者世帯が、安倍政権下で1.2倍以上に増えています。これ以上の負担増は大幅な受診抑制を引き起こし、高齢者の生存権が脅かされることとなります。

「負担能力に応じたものへと改革していく」というのなら、税や社会保険料での徹底こそが求められます。高額所得者からの保険料を能力に応じた負担とし、また、国の社会保険財源の確保を、消費税と「働き方」改革ではなく、「兵器爆買い」など軍事費等の無駄を省くこと、早期発見、早期治療や薬価の見直し、大企業や富裕層への課税強化で公費財源を確保すべきです。

後期高齢者の医療費窓口負担2割化は、高齢者の暮らしといのち、健康を守る上で大きな影響を及ぼします。よって以下の事項を請願します。

### 《 請 願 事 項 》

#### 1. 75歳以上の医療費窓口負担を2割にしないでください

氏 名	住 所
	都・道 府・県
	都・道 府・県
	都・道 府・県
	都・道 府・県
	都・道 府・県

\*住所は番地まで書いてください。また、住所が同じ場合でも「同上」や「//」は使わないでください

<呼びかけ団体>

中央社会保障推進協議会

東京都台東区入谷 1-9-5-5F  
03-5808-5344

日本高齢期運動連絡会

東京都中野区中央 5-48-5-504  
03-3384-6654

全日本年金者組合

東京都豊島区南大塚 1-60-20

< 取り扱い団体 >